

H25 千葉県中学校総合体育大会 バスケットボール競技 総評

第67回千葉県中学校総合体育大会バスケットボール競技は、八千代市民体育館をメイン会場に、7月28日・29日・30日の3日間で行われた。今年度は八千代市民体育館・印西市松山下公園体育館・柏市立柏高等学校・千葉ポートアリーナの4会場と、広範囲での展開となり、県内各地区の中学生にとって例年の大会に比べて、より県総体を身近に感じられる大会となった。

男子のベスト4には、選手権大会王者真砂中(千葉)、リベンジを誓う習志野台中(船橋)、行田中(船橋)、そして、4強の一角に勝利して勝ち上がった大和田中(八千代)が勝ち進んだ。準決勝の真砂中対行田中の対決は、前半、両チームともマンツーマンディフェンスでスタート。真砂中は④小林のリバウンドからのシュート、⑤島田のミドルシュートなどで着実に得点。対する行田中も、⑤樋口のスピードのあるドライブや、⑦寺西の3ポイントなどで真砂中のリードを許さない。真砂中5点リードで迎えた後半。行田中はオールコートゾーンプレスディフェンスで逆点をねらうが、真砂中⑦近藤の落ち着いたボール運びに阻まれる。真砂中リードのまま試合終了。最終スコア64対58で、真砂中が決勝進出を決めた。もう一方の大和田中対習志野台中の試合は、互いに激しいディフェンスでプレッシャーをかける展開。大和田中は④岩波、⑥大石を中心とした1 on 1で得点。習志野台中も⑤和田のドライブ、⑥富澤の3ポイント、⑦相川のインサイドなどバランスよく得点。後半、大和田中のミスが目立つと習志野台中がたたみかけ一気にリードを奪う。第4Q、大和田中は④岩波、⑤中西、⑧和田らの得点で追いつくも、習志野台中の終始落ち着いたバスケットボールを前に力及ばず。43-68で習志野台中が決勝進出を決めた。

決勝戦は、真砂中は2-1-2のゾーンディフェンス、習志野台中はマンツーマンディフェンスでスタート。前半、習志野台中は④滝田の3ポイントを皮切りに、⑥富澤、⑦相川とバランスよく得点し、リードを奪う。真砂中は④小林の1 on 1がよく決まるも、なかなか得点が伸びない。第2Qに入り、真砂中のゾーンディフェンスに対して習志野台中のシュートが落ち始めると、真砂中は⑥五明の3ポイントが決まりその差を詰める。同点で迎えた後半終わり、真砂中⑦近藤の3ポイント、ドライブで真砂中が逆点。習志野台中も⑧辻田、⑤和田のミドルシュートで再び逆点。残り30秒過ぎ、真砂中⑥五明のミドルシュートが決まり同点で延長戦へ。延長戦では真砂中④小林の1 on 1で真砂中が4点リード。残り8秒で習志野台中⑧辻田が3ポイントを沈めて1点差に詰め寄るも試合終了。真砂中が夏の総体初優勝を飾った。

女子のベスト4には、新人・選手権を制し総体7連覇を狙う第一シードの昭和学院中(市川・浦安)を筆頭に、8シードながら実力十分の習志野七中(習志野)、前回大会で惜しくも優勝を逃した七林中、七林中へリベンジをねらう八木が谷中が顔をそろえた。準決勝の昭和学院中対習志野七中のカード、習志野七中はオールコートのゾーンプレスで昭和学院中のリズムを崩す。対する昭和学院中は④赤穂の高さを生かしたオフェンスを展開するもリズムがつかめない。2Q終わりから徐々に昭和学院がリードする。後半に入ると昭和学院の勢いが増し、オフェンスが機能し始める。習志野七中も④ニフルブナ、⑦峰のスピードあふれるオフェンスを展開するも点につながらない。そのままリードが広がって99対65で試合終了、昭和学院中が決勝に駒を進めた。そして、準決勝もう一試合の八木が谷中対七林中は、船橋地区の決勝戦カード。前半から、七林中の速い展開のバスケットが光り、リードを広げて後半へ。後半にはいると、八木が谷中はオールコートのゾーンプレスを仕掛け、徐々に七林中のリズムを崩していく。八木が谷中はシュートがよく決まり、第3Q実に21-11のスコアで七林中に追いつく。第4Q残り5分、八木が谷中がついに逆点に成功。七林中も⑤城内のドライブで再び同点とし、フリースローで逆点するも、八木が谷中もルーズボールから速攻で同点に戻す一進一退の攻防に。そのまま突入した延長戦。一進一退の攻防から八木が谷中が3ポイントを沈めリードするも、七林中⑤城内がドライブから得点し逆点。54-55で七林中が辛くも関東大会への切符と決勝進出を決めた。

決勝戦は、昭和学院中、七林中ともにマンツーマンでスタート。昭和学院中は④赤穂、⑥佐々木の高さを生かした1 on 1やインサイドプレーを中心に得点。対する七林中は、⑤城内の鋭いドライブ、⑥福本、⑨前田のミドルシュートなどで対抗。前半は七林中が昭和学院中の高さを、粘り強いディフェンスでしのぎ、昭和学院中9点リードで折り返す。後半にはいると昭和学院中の高さが、七林中のDefを圧倒し始める。昭和学院中は④赤穂、⑥佐々木の連続得点でその差を突き放し、そのまま試合終了。昭和学院中が7年連続の千葉県総合体育大会優勝を果たした。敗れはしたものの、七林中の関東大会での活躍が楽しみである。

男女ともに総体の上位2校は、8月5日から茨城県ひたちなか市で開催される関東大会に出場する。関東大会では上位4校が全国大会出場の権利を得られるので、千葉県勢が関東大会でも活躍し、この枠の中に入ることを期待している。

尚、関東大会に関する詳細は、8月1日に組合せ会議が行われるので、決まり次第、千葉県バスケットボール中学生連盟のホームページに掲載します。

文責 千葉県小中体連バスケットボール専門部
報道委員会 中村 圭吾(富里中)

年間ランキング（H24新人戦～H25総体）

（県総体の閉会式後に表彰がありました）

	（男子）	（女子）
第1位	千葉市立真砂中学校	昭和学院中学校
第2位	船橋市立習志野台中学校	船橋市立七林中学校
第3位	船橋市立行田中学校	船橋市立八木が谷中学校
第4位	習志野市立第四中学校	習志野市立第七中学校

H24 千葉県県選抜選手（県総体の閉会式後に表彰がありました）

（男子）	（女子）
増田 修大（習志野六） 富澤 春輝（習志野台）	赤穂ひまわり（昭和学院） 相川さつき（清 川）
島田 舜太（真 砂） 小林 雄吾（真 砂）	井上 知保（入 船） 池田 千咲（志学館）
倉野 峻輔（貝 塚） 樋口 諒（行 田）	小島 彩（昭和学院） 藤田 香苗（習志野七）
大橋 路哉（習志野四） 石橋 陸（八街南）	佐々木実莉（昭和学院） 村松 優（小中台）
田村 伊織（五 井） 小曾根乙樹（若 葉）	菊池 花織（海 神） 秋元 文香（東金東）
山本 海斗（船橋旭） 長谷川亮太（市川三）	片野 星（公津の杜） 遠藤 聖奈（打瀬）